

198回 通常国会提出予定法案（新規）

警察庁 総計 2件（うち※ 1件，その他 1件）

予算 関連	件 名	要 旨	備 考
※	警察法の一部を改正する法律案	警察運営の効率化を図るため、警察庁の組織について、警備局に警備運用部を設置するとともに、中国管区警察局及び四国管区警察局を統合して中国四国管区警察局を設置する等の改正を行う。	2月1日提出
	道路交通法の一部を改正する法律案	最近における道路交通をめぐる情勢に鑑み、自動車の自動運転の技術の実用化に対応した運転者等の義務に関する規定の整備を行うとともに、自動車又は原動機付自転車を運転中の携帯電話使用等に対する罰則の強化等を行う。	3月上旬提出 予定

# 警察法の一部を改正する法律案（概要）

## 1 背景

- 複雑困難かつ長期の対応を要する大規模災害の続発  
(最近の大規模災害)
  - ・ 平成28年熊本地震
  - ・ 平成29年7月九州北部豪雨
  - ・ 平成30年7月豪雨
  - ・ 平成30年北海道胆振東部地震 等
- 東京オリンピック・パラリンピック競技大会等も控える中、厳しいテロ情勢を背景に警備実施が複雑困難化

## 2 改正の概要

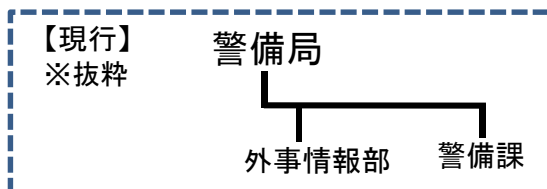
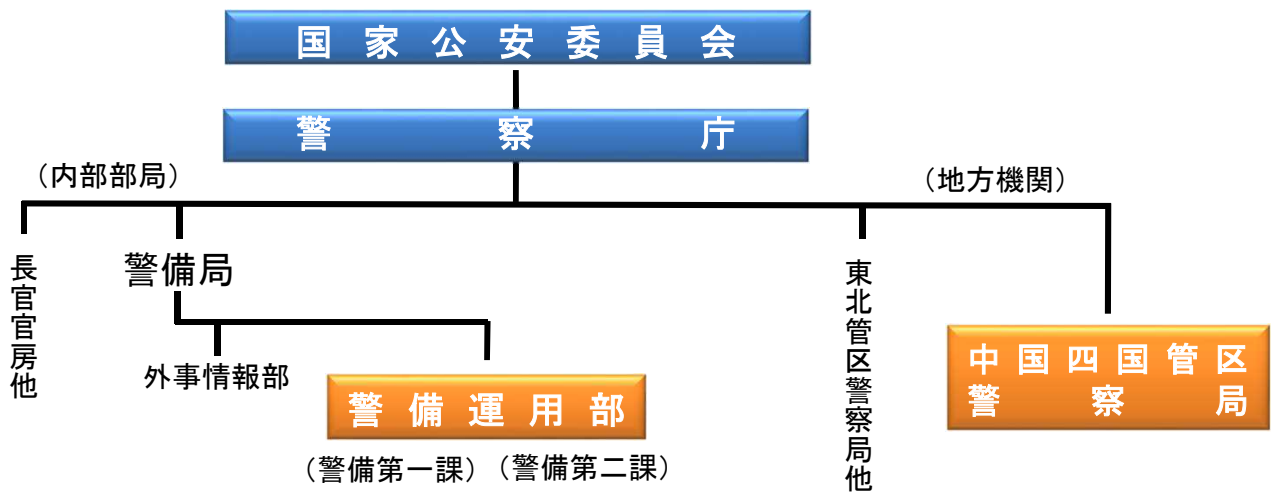
### ① 警備運用部の設置

⇒ 大規模警備実施中の大規模災害等複合的な事態における指導・調整機能の強化

### ② 中国・四国管区警察局の統合等

⇒ 広域にわたる大規模災害等の事態における指導・調整機能の強化

【警察庁組織図(改正後)】



※今回の警察法改正に関する組織のみ記載

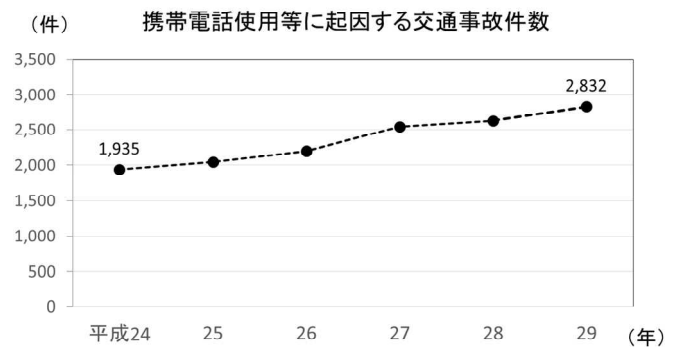
# 道路交通法の一部を改正する法律案（概要）

## 1 背景

- 2020年頃までにSAEレベル3\*の自動運転システムを実用化する目標を掲げているメーカーの技術開発状況を踏まえ、法制度を整備する必要（「官民ITS構想・ロードマップ2018」（平成30年6月IT戦略本部等決定））
  - \* SAEレベル3とは、一定の条件内では、システムが全ての運転操作を実施するものの、条件外や故障の場合には、運転者に運転操作を引き継ぐ必要があるもの

- 携帯電話使用等に起因する交通事故の増加

- 平成29年中の交通事故件数は、5年前の約1.5倍に増加（平成24年中：1,935件 → 平成29年中：2,832件）
- 毎年90万件以上の取締りを実施（平成29年中：約92万件）
  - ※ 全体の取締り件数の約14%



## 2 改正の概要

### ① 自動運転の技術の実用化への対応

- ⇒ ○ 自動運転に係る定義に関する規定の整備
- 自動運転中の運転者の義務に関する規定の整備
- 作動状態記録装置による記録等に関する規定の整備

### ② 携帯電話使用等対策の推進

- ⇒ 罰則の強化、反則金の限度額の引上げ 等

### ③ その他

- ⇒ 運転経歴証明書の交付に係る申請先の見直し 等